

『巨大地震に備える企業のリスクマネジメント』

セミナー概要

【第1部】 美食地質学で紐解くフィリピン海プレートの恩恵と試練

「天然の生簀(いけす)」と言われる瀬戸内海、また古代より「御食国」と呼ばれていた若狭湾や志摩半島。これらの地が素晴らしい食材に恵まれる秘密はフィリピン海プレートの運動にあります。これらの恩恵は、巨大地震や直下型地震などの試練と引き換えに私たちが授かったものです。

【第2部】 地震リスクの定量化手法

大地震の被災によって、企業活動は直接的、間接的に大きな影響を受けます。現在では、多くの企業で地震リスク評価に基づいて保険を中心とした地震リスクファイナンスの検討がなされています。本講演では、地震リスクの定量化方法について解説し、事例を交えながら地震リスクマネジメントへの活用方法をご紹介します。

開催要領

【日時】

2022年7月12日 (火)

14:00開始 (受付開始 13:30) 15:40終了予定

【会場】

淀屋橋サンスカイルーム9B室 (大阪市中央区高麗橋4丁目2番16号 大阪朝日生命館9F)

Osaka Metro御堂筋線 淀屋橋駅南開札を出て12番出口 朝日生命館連絡口から直結

※感染対策については、別紙をご覧ください。

※ Zoomウェビナーにて同時配信 (アプリをダウンロードせず、ブラウザからご参加いただけます。)

【参加対象】

企業経営者、リスクマネジメント、損害保険のご担当者様 等

【ご来場定員】

30名 (先着順) 2022年7月1日 (金) 〆切 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

【申込方法】

共立インシュアランス・ブローカーズ(株)担当者宛てにメールにてお申し込み下さい。
ご来場かウェビナーどちらでの参加をご希望が合わせてご連絡ください。

☞ ウェビナーでご参加の場合、視聴URLを2022年7月8日(金)までにお申し込みメールアドレスに送信いたします。

※お申し込みの際、ご記入いただいた個人情報は、共立インシュアランス・ブローカーズ(株)、共立グループ各社および本セミナーの講師を務める法人にて本セミナーの運営および関連する情報提供のために利用し、その他の目的には一切使用いたしません。ご同意のうえ、お申し込みください。

プログラム

【開会挨拶】

【第1部】

14:05~

「美食地質学で紐解くフィリピン海プレートの恩恵と試練」

ジオリブ研究所所長・神戸大学名誉教授

巽 好幸

【第2部】

15:00~

「地震リスクの定量化手法」

応用アール・エム・エス株式会社 リスクサービス部 マネージャー

高杉 剛

講師情報

▼巽 好幸 ジオリブ研究所所長・神戸大学名誉教授

<経歴>

1954年大阪生まれ。京都大学総合人間学部教授、同大学院理学研究科教授、東京大学海洋研究所教授、海洋研究開発機構プログラムディレクター、神戸大学海洋底探査センター教授などを経て2021年4月から現職。水惑星地球の進化や超巨大噴火のメカニズムを「マグマ学」の視点で考えている。日本地質学会賞、日本火山学会賞、米国地球物理学連合ボー・エン賞、井植文化賞などを受賞。主な一般向け著書に、『地球の中心で何が起きているのか』『富士山大噴火と阿蘇山大爆発』(幻冬舎新書)、『地震と噴火は必ず起こる』(新潮選書)、『なぜ地球だけに陸と海があるのか』『和食はなぜ美味しい - 日本列島の贈り物』(岩波書店)がある。テレビ番組NHKスペシャル『列島誕生 ジオ・ジャパン』などに出演。



▼高杉 剛 応用アール・エム・エス株式会社 リスクサービス部 マネージャー

<経歴>

1970年生まれ。2016年~2018年まで、名古屋大学減災連携研究センター受託研究員。ロンドン経済政治学校経済学大学院修士課程修了。川崎汽船を経て2003年より現職。同社では、主に企業向けの自然災害リスクの分析とコンサルティング業務に従事。日本公認会計士協会準会員。

